

「お酒は喜びや楽しみをもって、くつろぐための飲み物だと思います。製造する私たちが楽しくお酒を造ってこそ、飲む人に喜んでもらえると考えています」と語る忽那さん。分析技術を用い、香りが豊かな酵母を開発し、個性ある商品を造りました。そのお酒は鑑評会で最高賞を受賞するなど高い評価を得ています。「機械化が進み、酒造りの環境は変化してきました。機械を有効に利用し『理論的な酒造り』を目指しています」と情熱を注いでいます。



忽那さんが品質にこだわり手がけた日本酒。